IMA-BA-A

2020 県立対策 国語②

埼玉県公立入試
学力検査問題

国　語

〈五十分間〉

12292-1

埼
②
国

注　意

1　解答用紙について
(1)　解答用紙は一枚で、問題用紙にはさんであります。
(2)　係の先生の指示に従って、所定の欄に受検番号、氏名を書きなさい。
(3)　答えはすべて解答用紙のきめられたところに、はっきりと書きなさい。
(4)　解答用紙は切りはなしてはいけません。
2　問題用紙について
(1)　表紙の所定の欄に受検番号を書きなさい。
(2)　問題は全部で五問あり、表紙を除いて十一ページです。
○　印刷のはっきりしないところは、手をあげて係の先生に聞きなさい。

受検番号	第　　番

1　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（26点）

柔道に打ち込む中学生の健太（けんた）は、通称「頑固親父（がんこおやじ）」の経営する柔道教室に通う。教室ではほとんど敵なしの状態だったが、ある日同年代の女子である友里と対戦して投げられてしまう。その後、健太は自分を投げた友里にほのかな好意を持ちはじめる。次は、その友里と再度試合をすることになる場面である。

バランスよく立っている人間をそのまま投げるのはとても難しい。技は相手がバランスを崩した時にかけなければならない。相手のバランスを崩させるために、動きのリズムを変えたり、動きの方向を変えたりする。ところが、技をかけようとする側もその時には自らのバランスを一瞬、崩してしまう。返し技は、つまり、技をかけられた側がバランスを保持した時に力を発揮するのだ。同じ技を同じタイミングでかけてくる相手に返し技をかけるのは、難しいことではない。なぜなら、すべての動きは予想がつき、予想される動きに対してはバランスを崩すことなく対応できるからだ。

健太は相手の右足が飛んだ時、すっと体を寄せて、相手の左足を払った。あっけないほど簡単に技が決まり、相手は背中から倒れた。

「ずるいよ、健太」

ふてくされた顔で抗議する。

健太は肩をすくめて、手を差し出した。

練習相手はぷいと横を向き、健太の手を取ろうとしない。一度くらい技にかかってやればよかったかな、と健太は反省する。

「健太」

呼ばれて振り向くと、頑固親父が立っていた。額がてかてかと光っている。①腕組みをして、決して機嫌が良さそうではなかった。

練習相手は頑固親父の顔を見ると、あわてて立ち上がり、そそくさと道場の隅に逃げ出した。

「何ですか？」

健太は柔道着の前を直して、頑固親父に正対した。練習の相手になってくれるのなら、これほど好都合なことはない。

「実はちょっと話がある」

「はあ」

「稽古が終わったら、待っていてくれないか？」

「わかりました」

頑固親父は何か言いたそうに口を動かしかけたけれど、うなずいただけで、健太に背中を向けた。ごつごつとした岩を思わせる大きな背中だった。

今日はこれまで、と頑固親父が言ったのは、午後八時を少しすぎた頃だった。大半の少年少女はもう帰宅していた。残っているのは社会人の柔道好きばかりだった。

関係しそうなところを拾う

結局、友里は現れなかった。残念だな、と思いながら、健太は頑固親父に近づいた。

「話って何ですか？」

ああ、とうなずいて、頑固親父は健太の肩に手をかけて、体育館の隅までつれていくと、帰り支度を始めた練習生たちの方をちらりと見てから小声で話し始めた。

「実は、友里のことなんだが」頑固親父は話しにくそうに唇をなめた。「②柔道をやめたい、と言っているんだ。あいつには才能があるから、やめて欲しくない。で、お前に頼みがある」

「ぼくが説得するんですか？」

「説得はわたしがした」と頑固親父は不機嫌に言った。「お前にしてもらいたいのは、友里との試合だ。あいつと同年代で、あいつよりも強い奴がいることを知ってもらいたいんだ。そうすれば、負けず嫌いだから、これからも柔道を続けると思う」

「何か単純ですね」

健太は言った。

「シンプル・イズ・ベストだ」頑固親父は柄にもなく横文字を使った。「友里は柔道に飽きたのではなくて、柔道に飽きたらしい。随分、なめた態度だ。柔道の道を極めるのがどんなことなのか、まったくわかっていない。柔道の奥の深さも知らないで、飽きるとは何事だ」

「ぼくに怒ってどうするんですか」

「ああ、すまん、つい興奮した。友里は小さな頃からみっちりとわたしが仕込んだんだ。今になってやめるなんて許せない、と思わないか？　友里には新しい刺激が必要なんだ。そうすれば、あいつはまた柔道に情熱を燃やすはずだ。柔道好きの血は友里にも流れているから」

「はあ？」

③健太は間の抜けた声を出した。

片づけを終え、帰り支度を整えた練習生たちが頑固親父にお辞儀をして、次々に帰っていく。頑固親父は一々、挨拶を返している。

「お前、知らないのか？」

ようやく振り返って、頑固親父は言った。

「何をですか？」

「友里はわたしの娘だ」

孫の間違いではないか？　と思ったけれど、口には出さなかった。健太は頑固親父の顔をじっくりと見て、それから記憶にある友里の顔を思い浮かべた。類似点はまったくなかった。外見的な遺伝はすべて彼女の母親から受け継いだものなのだろう。

「名字が一緒だろう？　すぐに気がつくはずだぞ」

「名字が一緒なのが親子の証明だったら、ぼくは首相の息子ということになりますけど」

「屁理屈を言うな」

ぴしゃりと頑固親父は言った。そして、少し口調を柔らかくして続けた。

「で、どうだ？　友里と試合をしてくれるか？」

「やりましょう」と健太は言った。「のぞむところです」

そうか、と頑固親父は初めて笑顔を見せた。よしよし、とうなずいている。

「彼女はＯＫしたんですか？」

「した。渋々だったけれど」

「それで」と④健太は用心深く訊いた。「ぼくは勝った方がいいのですか？」

「そりゃそうさ」

頑固親父は疑わしげに健太の顔をうかがった。「どうして、そんなことを訊く？」

「先生は彼女に柔道をやめて欲しくない。それが最優先事項だとしたら、彼女が負けなくて、大きな男を投げ飛ばす喜びに目覚めてもいいわけでしょう？」

「まあ、そうだな」

頑固親父の声に力はなかった。居心地が悪そうに視線を卓球台の方に向け、まばたきを繰り返した。

「要するに⑤先生は保険をかけたわけですね？　勝負の結果がどうなってもいいように」

頑固親父は何も言わなかった。

「でも、先生の保険が有効かどうかはわかりませんよ」

「有効だと思いたいね」

「ぼくは全力を尽くします。勝てるかどうかはわからない。先生はどう思いますか？」

「そうだな」頑固親父は考え込んだ。「相手が女だと思わなければ、お前にも勝つチャンスはあるだろう」

ということは、ぼくは負ける可能性の方が大きい、と頑固親父は読んでいるわけだ。

戦力分析としては、妥当なところだろう。

「試合はいつです？」

「健太さえよければ」と頑固親父は言った。「明後日の金曜日に」

「明後日の金曜日ですね」と健太は復唱した。「ぼくのスケジュールは空いています」

健太は一礼して、頑固親父に背を向けた。ぼくの背中はごつごつとした岩のように見えるだろうか？　とふと思った。

（川西蘭『決戦は金曜日』による。）

問1　①腕組みをして、決して機嫌が良さそうではなかった　とありますが、このときの頑固親父について述べた文として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（4点）

ア　友里は、自分の娘だが何かと親に反抗ばかりするのでもてあましている。

イ　健太が友里のことばかり考えて柔道に身が入らなくなっているので心配している。

ウ　健太は、自分より弱い相手でも平気で投げるのでどう指導するか考え込んでいる。

エ　友里には柔道の才能があるので、なんとかやめさせたくないと悩んでいる。

1 分析する
2. 構成をイメージする

問2 ②柔道をやめたい、と言っているんだ とありますが、友里がこのように思う理由を、本文中の言葉を使って、三十字以上、四十字以内で書きなさい。（6点）

友里には、同年代に自分より強い相手がおらずうまくなったのではなく柔道に飽きてしまった から。
40

問3 ③健太は間の抜けた声を出した とありますが、健太は、頑固親父から友里が自分の娘であることを告げられても、それをすぐには納得できずにいます。その理由を、本文中から探し、はじめの五字を書き抜きなさい。（4点）

問4 ④健太は用心深く訊いた とありますが、この表現は健太のどのような様子を表していますか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（5点）

ア 頑固親父は、わざと友里に負けるように指示しているのではないかと思っている。
イ 頑固親父の、友里と健太を試合させる真のねらいがつかみきれない思いでいる。
ウ 頑固親父は、本心では健太と友里の試合は避けたいと思っていると感じている。
エ 頑固親父が、健太が真の返し技を習得することを望んでいると感じている。

類似点はまったくなかった。

「端的に」というのは 簡潔に／はっきりと

問5 ⑤先生は保険をかけたわけですね？ 勝負の結果がどうなってもいいように とありますが、なぜ勝負の結果はどうなってもよいといえるのですか。空欄にあてはまる内容を、五十字以上、六十字以内で書きなさい。（7点）

友里がもし 健太に勝てば、大きな男を投げる喜びに目覚めるだろうし、仮に健太に負けても負けず嫌いに火がつき、柔道をやめることはない
60
から。

A だ
B でも

勝っても負けてもそれが保険をかけるということ。
どちらに転んでもいいようになっている

2 次の各問いに答えなさい。（24点）

問1 次の——部の漢字には読みがなをつけ、かたかなは漢字に改めなさい。（各2点）

(1) 産業全体の振興を図る。 しんこう
(2) 彼の力量は卓越している。 たくえつ
(3) あるニュースが耳目を集める。 じもく ＝（関心）注目を集める。
(4) 事故の相手にシャザイする。 謝罪
(5) 母の誕生日をイワう。 祝

問2 次は、「惜」という漢字を漢和辞典で調べる方法について述べたものです。□に入る適切な言葉をひらがなで書きなさい。（4点）

「惜」という漢字の読み方を知っていれば、音訓索引で調べることができる。漢字の読み方を知らない場合は、この漢字の部首が「□」なので、部首索引で調べる。またこの漢字の画数が十一画であることから、総画索引で調べることもできる。

小 ⇓ りっしんべん

問3 次の文の□に入る言葉として最も適切なものを、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（4点）

山田さんは、彼が描いた絵を□ほどほしがっている。

ア 骨が折れる　イ 足を棒にする
ウ のどから手が出る　エ 歯をくいしばる

問4 次の例文の——線部「助ける」と活用の種類が同じものをあとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（3点）

困った状況にある人を助けることも、政治の重要な任務である。

ア 道路を横断するときは左右に気をつける。
イ 思い切ってサッカーボールをける。
ウ ヨットで太平洋を横切る予定だ。
エ 庭一面に伸びた草を刈る。

チェック!!

☆活用の種類は

□ない をつける

助け (エ) ⇓ 下一段

問5　次の例文の――部「だ」と、同じ意味（働き）で使われている「だ」を含む文を、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（3点）

彼は、どんなときにも自分の意志を曲げることのない、しっかりした中学生だ。

ア　今年も梅雨の季節がもうすぐ始まるようだ。
イ　台風は、九州に接近しているそうだ。
ウ　テストの時間をむかえて、教室は静かだ。
エ　母の作るハンバーグは、抜群のうまさだ。

言いかえを活用

静かだ → 静かな（に変えられる）＝形容動詞

助動詞の一部分（だ）（です）（である）

3　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（26点）

テーマの把握

①文化と文明の意味や違いについては、昔から多くの論争が行われてきた。西洋では、学問・宗教・芸術など精神的生活に関わるものを「文化」、生産過程・経済活動・流通や移動方法など人間の物質的所産に関わるものを「文明」と呼ぶのが普通のようである。その立場をとるなら、科学は文化の諸相の中核を成し、技術は文明の基礎と言うことができるだろう。

文化の諸相とは、文化を構成するものそれぞれが価値を持ち、それぞれに意味があって、多様性・多重性があることを意味する。その意味で、科学は文化の多様性・多重性を彩る上で重要な役割を果たすのである。これに対し、農業文明、工業文明、情報文明というように、文明は段階的に質が変化し、それに応じた独自の形態をとっていく。社会の基幹部を成す産業構造が文明の形態を特徴づけるのだが、その基礎的な部分を構成するのが技術である。技術は物質に働きかけることによって文明の質を変化させていくのだ。（中略）

むろん、科学の幅が広がり、技術開発と相携えて進む分野があり（例えば、人工知能研究と密着したロボット開発）、また科学原理を求めつつ、物質の振る舞いを制御しようとする技術もある（例えば、※ナノテクノロジー）。このように科学と技術が互いに近づき、このように単純に割り切れない側面も多くなっているが、おおよその傾向を捉えているのではないかと思っている。

つまり、科学と技術は本来別物であったし、またその役割も異なっていた（いる）ことをしっかり認識する必要がある。そして、科学は文化として役に立つのであり、技術は文明の手段として役に立つことを弁別しておかねばならない。私たちが役に立つと言う場合は、生活あるいは社会に役立つこと（生活がより便利になる、金儲けにつながる）が暗黙の裡（うち）にあるのだが、それは技術の発展を意味していることがほとんどなのである。その観点のみから見れば、文化としての科学は役に立たないということになってしまう。ピカソの絵もベートーベンの音楽もロダンの彫刻も、物質的な生活の便宜には役に立たないのと同様である。しかし、私たちはピカソもベートーベンもロダンも精神的な面で不可欠なものと思っている。それが無くても生活はできるが、それが無ければ無機的で潤いのない生活になってしまうだろう。芸術作品と同じように、宇宙創成の謎（なぞ）や物質の根源を探る科学、生命の進化を辿（たど）り人類の起源を追究する科学も、私たちが精神世界を健全に生きていく上で不可欠なものなのである。

では、②科学を文化として成り立たせているものは何なのだろうか。科学は芸術や宗教と同じような人間の精神的活動の成果であることは当然である。最大の特徴は、見返り（利益や直接の効能）を求めないけれど、人々の支え（税金、浄財、対価、ボランティアなど）無しには成り立たないということだろう。科学研究からすぐに利得が得られるわけではない。にもかかわらず、科学研究には金がかかり、何らかの形の援助がなければやっていけない。科学者とそのスポンサーたる市民の間に暗黙の社会的契約が結ばれているのである。大学における科学研究に税金が使われるのは、市民の間で文化を大事にするという合意が基礎になっているからだ。

では、その合意の原点は何なのだろうか。

文化はあることが大事であって無ければ寂しいものである。自然の真理を探る科学においても、そのような営みが行われていることこそが人間にとって重要だと言えよう。文化の中核となるべき科学の営みを専門家たる科学者に託し、科学者はその負託に応えて誠心誠意努力する、市民はそれを応援しつつその成果を享受する、それが合意の原点なのである。例えば、天文学は、人々の物質的豊かさには何らの寄与もしないが、人々の宇宙へのロマンや憧れや好奇心を満たす役割を果たす。宇宙からの声を聞くという行為が人間の証明と言えるかもしれない。だからこそ、科学が文化であるためには、科学者個人の努力とともに社会的受容が欠かせない条件なのである。科学研究は社会と独立した独善的な行為ではないのだ。

こう考えると、科学は趣味の世界（一種の博物学と言えるかもしれない）と類似した側面がある。あれば楽しく無ければ寂しい、物質的豊かさには無縁だが、精神的な安心感・充実感をもたらすからだ。趣味と科学が決定的に異なるのは、趣味は個人の興味に閉じているが、科学がもたらす所産は人々の世界観や自然観と強く結びつき、社会に大きな影響を与える可能性があることだ。そして、それは時代とともに変化していくし、技術を通じて文明の形態を変えていくことにつながっている。

であればこそ、③科学研究に対して税金が使われ、それを市民が認めているのである。芸術も同じ文化の一翼を構成しているが、④科学ほど税金が使われるわけではない（大学における芸術学部の割合が小さいのを見ればわかる）。芸術には作品への対価という交換価値があるのだが、科学にはそれがないことが理由であろう。だからこそ、科学者は科学が社会に円滑に受容されていくよう努める義務があるのである。

とはいえ、※グローバル化した市場原理が席巻（せっけん）する現代において、実用に役に立つ科学ばかりが強調されるようになっている。それに応ずるかのように、科学者も役に立つことを言い訳がましく口にし、研究費をねだるようになった。例えば、量子力学は最初は純粋な科学研究であったが、現代においてはコンピューターやレーザーなど大いに世の中の役に立っている、と言う。だから、今は役に立たないように見えても、そのうちに役に立つようになるのかもしれないのだから科学に投資すべきである、というわけだ。そうであるかもしれないが、そうでないかもしれない（そうでな

い可能性の方が大きい）。「そのうち役に立つ」という言い方は、バブル会社のように、※空手形を発行して資金を調達しようとしているのと同然なのではないか。市民の側も、「何の役に立つか」にひどくこだわるようになっている。実生活や生産に役に立たねば無意味だと言わんばかりである。ここにおいては敢えて、科学者は生活や生産に役に立つと言うのはタブーにし、文化として人々の役に立っていると正々堂々と言えることが肝要であり、市民は不用の用に価値を見出す鷹揚さを身につける必要があることを強調したい。

（池内了『科学と人間の不協和音』による。）

（注）※ナノテクノロジー……超精密技術。
※グローバル化……活動が地球的規模に拡大すること。
※空手形……実行されない、口先だけの約束。

問1 ①文化と文明の意味や違い とありますが、次は、（文化と文明の内容や特徴の違いをまとめたものです。空欄にあてはまる言葉を本文中から探し、五字で書き抜きなさい。（4点）

文化	精神的生活に関わる、学問・宗教・芸術など。 文化の諸相の中核に科学が位置する。
文明	生産・経済・流通などの人間の（　　）に関わる。 技術が文明の質を変化させる。

問2 ②科学を文化として成り立たせているものは何なのだろうか とありますが（これについて筆者はどのように考えていますか。）次の書き出しに続けて、本文中の言葉を使って、二十字以内で書きなさい。（6点）

科学は、（個人の努力とともに、社会的な受容）があることによって、文化として成り立つものである。

問3 ③科学研究に対して税金が使われ、それを市民が認めているのである とありますが（その理由）を社会、技術の二つの言葉を使って、五十字以上、六十字以内で書きなさい。ただし、二つの言葉を使う順序は問いません。（7点）

問4 ④科学ほど税金が使われるわけではない とありますが（その理由）として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（4点）

ア 芸術は科学に比べて、個人的な好みに支配されるもので社会性に乏しいから。
イ 芸術は、科学が生み出す成果ほどには一般の社会での利用価値がないから。
ウ 芸術は科学と違い、その成果である作品そのものを売ることができるから。
エ 芸術は、科学のように精神的な安心感、充実感を得ることができないから。

問5 （本文中に書かれている内容として最も適切なもの）を、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（5点）

ア 科学は自然の真理を探るためのものであり、すべてがわれわれの生活に直接役立つわけではないが、金のかかる研究には何らかの形で援助をしなければならない。
イ 科学は、われわれのロマンや憧れや好奇心を満たしてくれる唯一の手段なので、その研究が人間に多少の悪影響を及ぼすものであっても継続していく必要がある。
ウ 科学に膨大な研究費用がかかるのは、グローバル化した現代社会の宿命なので、科学者はできるだけ個人でまかない、不足分は市民からの費用で補うべきである。
エ 科学の研究は社会にとって、物質的にも精神的にも有用であることは言うまでもないが、市民はこの事実を正確に認識して、さらに自らの負担を増やすべきである。

4

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（……の左側は口語訳です。）（12点）

どんなことを よくないと思っているのか

鶯（うぐひす）は、世になくさま、かたち、声も①をかしきものの、夏秋の末まで老い声に鳴きたるを、

※内裏（うち）のうちに住まぬぞ、いとわろき。また、夜鳴かぬぞいぎたなきとおぼゆる。（まったくよくない。／眠りをむさぼる）十年ぐらい 十年ばかり内に

候ひて聞きしかど、聞いた さらに音もせざりき。そんなのに そんなのに とても さるは、竹もいと近く、通ひぬべき枝のたよりもありかし。まかでて聞けば、聞くと あやしの家の梅の中などには、はなやかにぞ鳴き出でたるや。（まったく鳴き声もしなかった。／通って来ることのできそうな都合のよい枝もあるよ。／宮中を退出してみすぼらしい）

（清少納言『枕草子』による。）

（注）※内裏……宮中のこと。あとの「内」も同じ。

問1 ①をかしきものの とありますが、この部分を「現代仮名遣い」に直し、ひらがなで書きなさい。（3点）

おかしきもの

問2 この文章を読んだ鈴木さんは、鶯の特徴を次のようにまとめました。（ ① ）にあてはまる内容を本文中から探し、四字で書き抜きなさい。また、（ ② ）にあてはまる内容を本文中から探し、五字で書き抜きなさい。（各3点）

『枕草子』に述べられる鶯の特徴

長所	短所	体験
・このうえなく姿や声のすばらしい鳥である。	・（ ① ）になるまでしわがれ声で鳴く。 ・宮中にはやって来ない。 ・夜は鳴かない。 ↓ 寝坊な鳥。	・作者は宮中に（ ② ）仕えているが、一度も鳴き声を聞いたことがない。

l.1 l.2〜3

夏秋の末 十年ばかり

問3 本文に述べられた鶯や作者自身のことについての説明として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。（3点）

ア 宮中には鶯が来るのに都合のよい竹や枝もあるのに、鶯はやって来ない。

イ みすぼらしい家に住む人たちは、鶯を飼っていることが多い。

ウ 一般には鶯は梅の木を好むと言われているが、実際は竹の方が好きである。

エ 「枕草子」の作者は、鶯の鳴き声を聞いて朝の目覚めを迎える。

5

あなたの中学校では、「全員読書活動」として、次の1～3のいずれかを選んで読書をすることになっています。

お題のカクニン!!

この活動に参加するにあたり、国語の授業で読書についての意見交換をすることになり、一人一人が自分の考えを文章にまとめることにしました。次の1～3の中からあなたが希望する読書を一つ選び、あとの（注意）にしたがって、あなたの考えを書きなさい。（12点）

1 現在話題になっている、最新の作品を読む。（新刊）
2 書かれてから長い年月が経っているが、今も読みつがれている作品を読む。（古典）
3 生活やさまざまな活動をするうえでの参考になる本を読む。（実用）

（注意）

(1) 二段落構成とし、第二段落ではその理由を、自分の体験 見たこと聞いたことなども含む）をふまえて書くこと。

(2) 作文の中で1、2、3の選択を示すときは、それぞれ新刊、古典、実用と表現してよいものとする。

(3) 文章は、十一行以上、十三行以内で書くこと。

(4) 原稿用紙の正しい使い方に従って、文字、仮名遣いも正確に書くこと。

(5) 題名・氏名は書かないで、一行目から本文を書くこと。

（以上で問題は終わりです。）

県立対策
②

1

/26

問1	問2						問3	問4	問5
工 4	同年代に自分より強い相手がおらず、嫌いになってたのではなく柔道に飽きてしまった 6						類似点はま 4	イ 5	健太に勝てば、大きな男を投げる喜びに目指めるだろうレ、太に負けても負けず嫌いに火がつ 7

(A) (B) (A) (B)

2

/24

問1			問2	問3	問4	問5
(1) しんこう 2	(2) たくえつ 2	(3) じもく 2	りっしんべん 4	ウ 4	ア 3	エ 3
(4) 謝罪 2	(5) 祝う 2					

3

/26

問1	問2	問3				問4	問5
物質的所産 4	個人の努力とともに、社会的受容 6	人々の世界観や自然観を強く結び	つき、社会に大きな影響を与える	可能性がありく、技術を通じて文明	の形態を変えていくこと 7	ウ 4	ア 5

(A) (B)

4

/12

問1	問2		問3
おかしきものの 3	(1) 夏秋の末 3	(2) 十年ばかり 3	ア 3

比較的カンタンな問題ばかりだと思う
（1ミスまで）

5

/12

私は、今も読みつがれている古典的作品を読むべきだと思います。	古典的作品には、現代でも受け入れられるだけの魅力があります。	私は落語が好きで、「ときそば」を読んだときに、シンプルなのにとんちの効いた内容で感嘆しました。今よりも表現した。今よりも表現せる言葉は少ないはずなのに、その分読者の想像を駆り立ててくれます。長く受け入れられているものには、それだけの理由があります。だから、私は皆さんに古典的作品をお勧めします。											

ジャスト

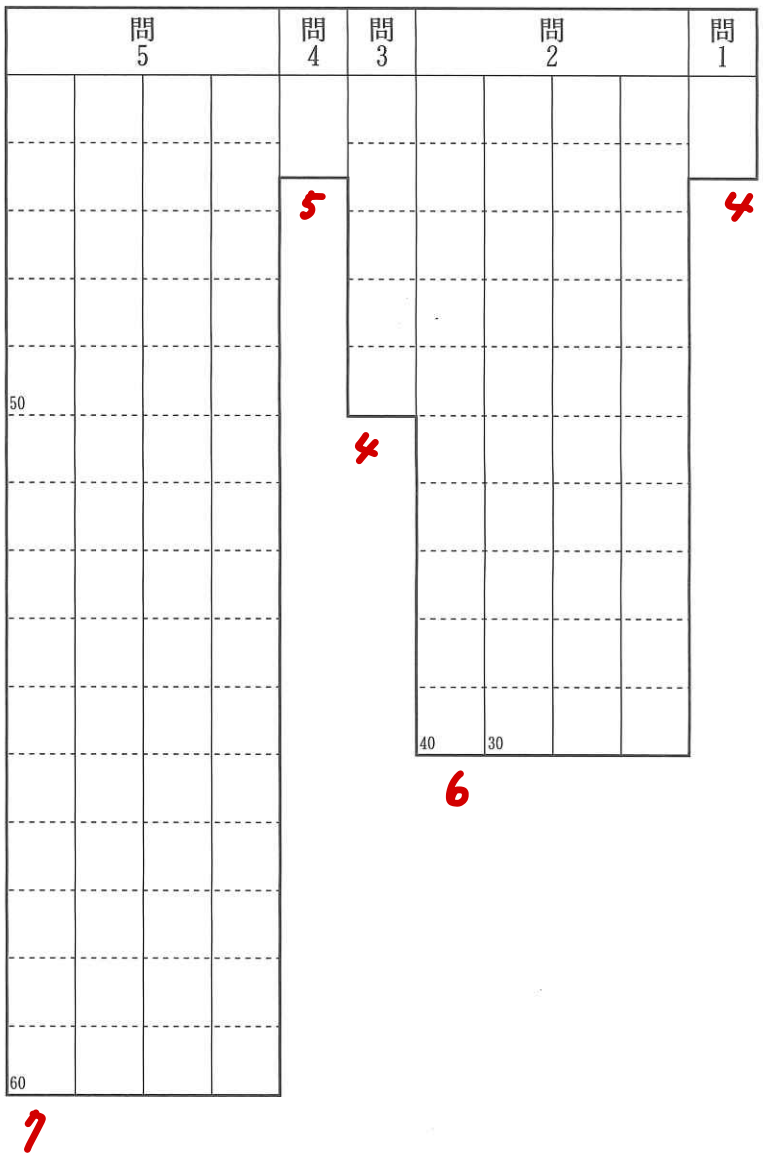
得点		受検番号	第 番	氏名	

県立対策
②

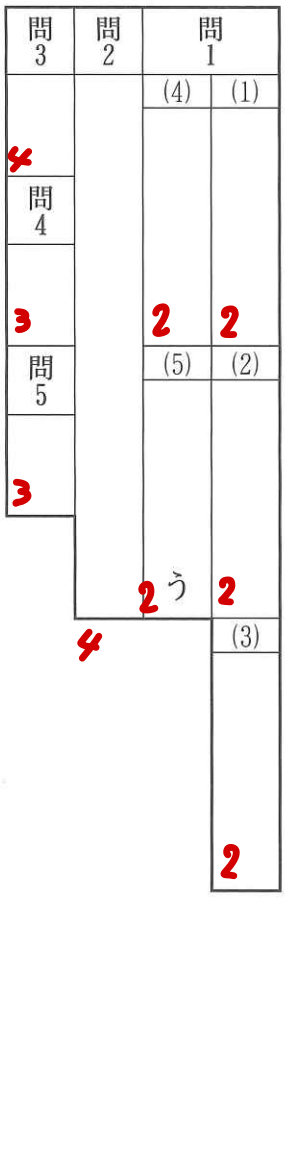
埼玉県公立入試
学力検査問題

国語 解答用紙 (1)

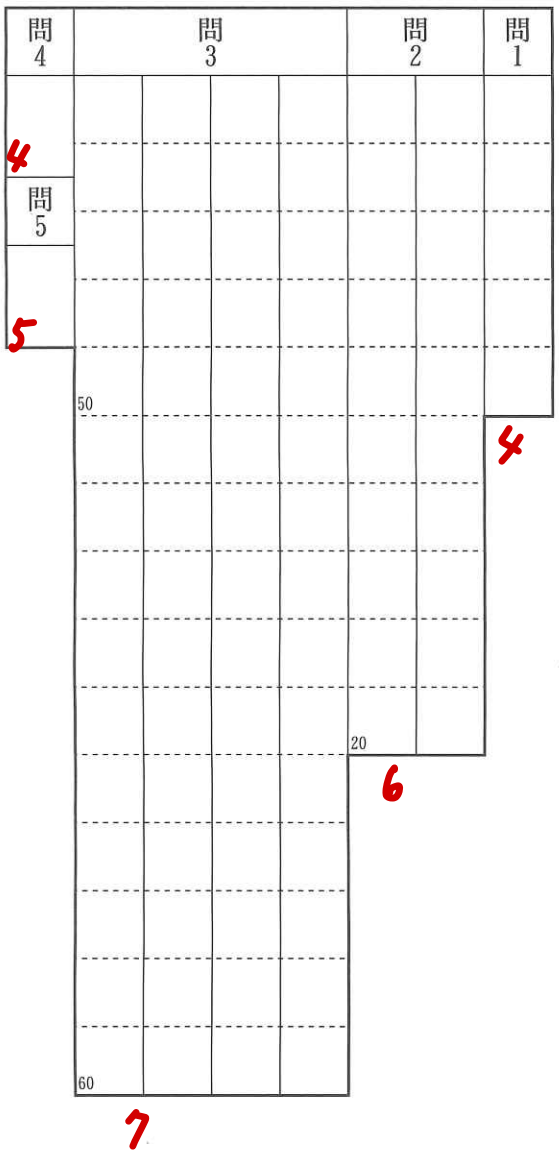
1 /26



2 /24

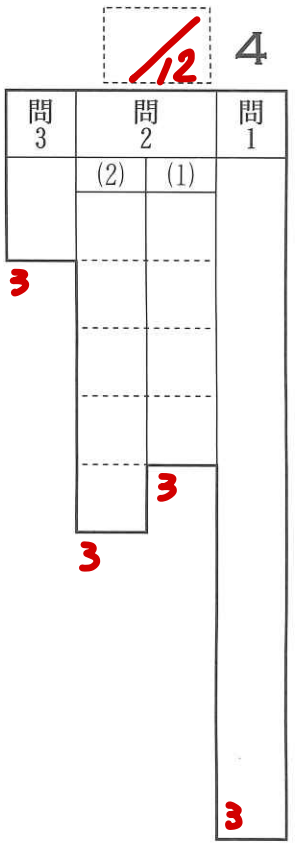


3 /26

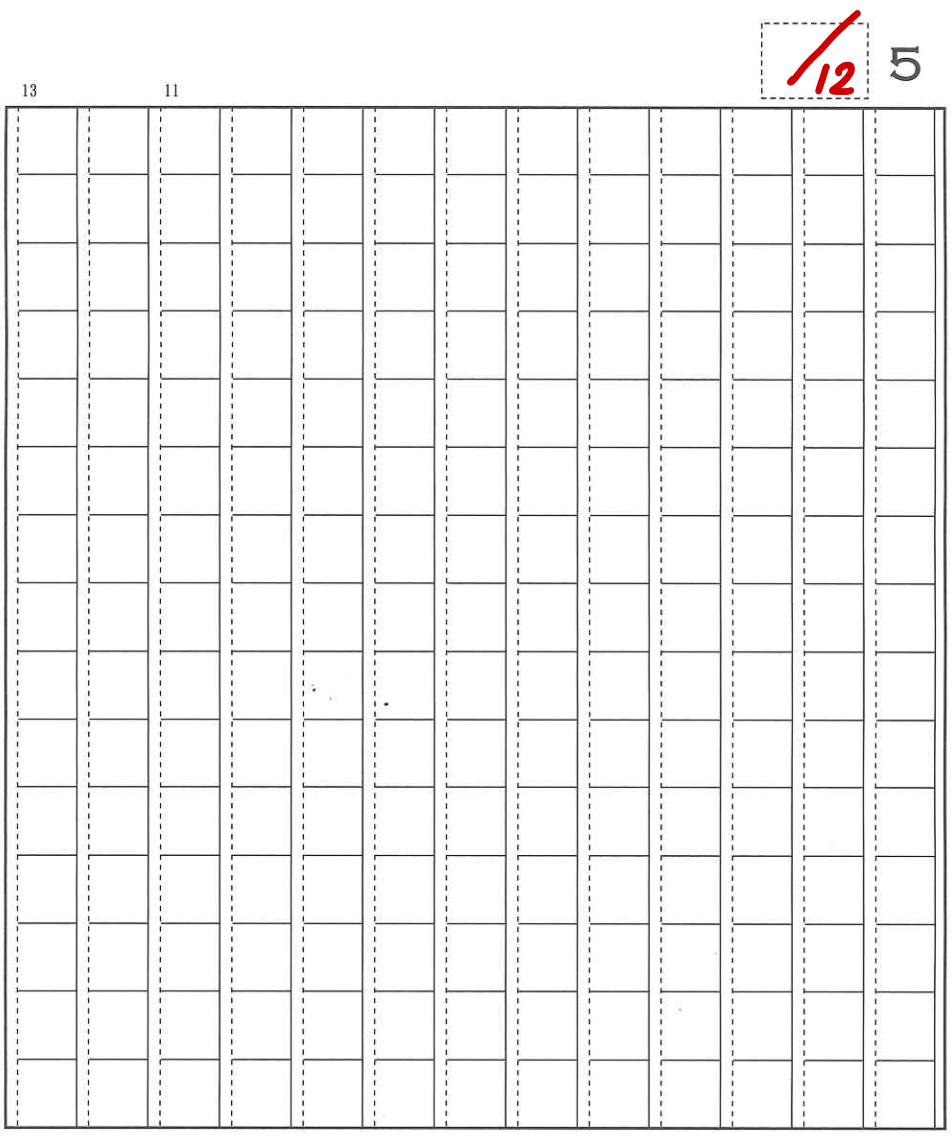


国語 解答用紙 (2)

4 /12



5 /12



得点		受検番号	第　　番	氏名	